

(1) 教育活動の目標と方策	(2) 重点目標及びコロナ禍・新規指定校等に係る方策
<p><b>1 特色ある教育活動</b></p> <p>①SSH指定校として、あらゆる教科で生徒の探究的な学びへの指導法を工夫し、生徒の研究発表の機会を支援する。</p> <p>②カリキュラムマネジメントを働かせ専門教科と普通教科を連携させた実践例を積み重ねる。</p> <p>③科学技術に関する専門科目や課題研究の指導を充実させるとともに、研究ポスターの作成や説明能力、プレゼンテーションスキルを高める指導を充実させる</p> <p>④自然科学部門文化部推進校として、全国レベルの研究発表会やコンテスト等に挑戦する活動を活性化する。</p> <p>⑤校外における研究発表会への参加件数を増やすとともに、大学や研究機関との連携事業を充実させる。</p> <p>⑥小中学校や他の高校と連携して、科学技術教育の普及に努め、地域の科学技術人材を育成する。</p> <p>⑦海外学校間国際交流校として、共同研究発表での交流や姉妹校交流、英語研修の取組を推進する。</p>	<p>①全国大会レベルの受賞件数 10 件以上</p> <p>②校外研究発表の件数 100 件以上</p> <p>③大学や外部研究施設の連携数 50 件以上</p> <p>④教科連携の授業実践例 5 例以上</p> <p>⑤共同研究発表等の海外交流及び海外研究者講演会等の英語をツールとした研修 5 件以上</p>
<p><b>2 学習指導</b></p> <p>①知識・技能の習得の質を高め、「主体的・対話的で深い学び」を実践する。</p> <p>②双方向の授業を行い、生徒が思考・判断・表現する場面を設定することにより生徒の主体的に学習する態度を育成する。</p> <p>③授業参観等のOJTを充実させ、校内研修等で研鑽を積み、授業力の向上を図る。</p> <p>④外部での授業研究等の研修成果を教科会や研修会等で還元し教科指導の改善に努める。</p> <p>⑤全学年で朝・放課後の学習活動、補習等を活用してきめ細かな指導を充実させる。</p> <p>⑥学力スタンダードに具体的な学習目標を明示し、校内で組織的・効果的な指導を行う。</p> <p>⑦習熟度別授業や少人数授業の授業展開を工夫し、3年間を見通した教科指導を充実させる。</p>	<p>①生徒による授業評価を7月、12月の年2回実施し、分析結果をフィードバックする。(生徒氏名の記名なしに変更) 肯定的評価80%以上</p> <p>※研究授業の参観数を増やすとともに外部の指名制による授業研究等への参加を促す。</p>
<p><b>3 進路指導</b></p> <p>①進学指導研究校として、進路部主導の指導体制を確立し、3年間を見通したキャリア教育を展開する。</p> <p>②外部模試毎に目標設定や分析会を実施し、適宜ケース会議を設定するなどして学校全体で情報共有を図る。</p> <p>③自習室等の整備や課題を工夫するとともに、学習支援クラウド等のデジタル技術を活用した教育を推進する。</p> <p>④長期休業中の講習・補習、総合型選抜に対応した面接指導など個別指導を充実させ、多様な大学選抜方法を活用し、生徒の進路実現を支援する。</p> <p>⑤生徒面談や三者面談を通じて、生徒一人一人の適性・能力に応じた指導を行う。</p> <p>⑥英語検定、ITパスポート、電気工事士、危険物取扱、溶接等の資格取得に向けて、教科だけでなく学校全体で取り組む。</p>	<p>①国公立大学合格者数 15名以上(昨年11)</p> <p>②四年制大学進学率65%以上(昨年62%)</p> <p>③授業以外での学習時間 2時間以上(1・2年生共通)(昨年70分)</p> <p>④長期休業の講習等の開講講座数 80件以上</p> <p>⑤英検準2級程度以上の合格者数 70名以上</p> <p>※模試分析シートの作成</p> <p>※模試分析会等の職員会議での実施</p>

(3) 自己評価	(4) 次年度以降の課題と対応策
<p><b>1 特色ある教育活動 【A】</b></p> <p><b>【数値実績】</b></p> <p>①全国大会レベルの受賞件数 10 件以上 13 [5] 全国SSH生徒研究発表会審査委員長賞受賞を始め、金属学会・総文祭・千葉大学高校生理科研究発表会で受賞、他に国際学会、国際論文も査読通過し掲載2本有り</p> <p>②校外研究発表の件数 100 件以上 213 [85] 大会・コンテストへの口頭・ポスター発表件数が大幅に増加</p> <p>③大学や外部研究施設の連携数 50 件以上 47 [25]</p> <p>④教科連携の授業実践例 5 例以上(新規) 3 件</p> <p>⑤共同研究発表等の海外交流及び海外研究者講演会等の英語をツールとした研修 5 件以上(新規) 10 件 [3] エンパワーメントプログラム(夏季休業中3日)、台湾・麗山高級中学との連携2、インドSt.メアリー・大島インディアインターナショナルスクール5、英語講演会2 3年ぶりにSSHの再指定を受け、校外での研究発表で目に見える成果を上げた生徒が多く出た。また、コロナ禍で海外渡航が困難な中、オンラインによる研究発表交流会の実施数が増え、夏季休業中の希望者に対して実施した英語研修参加者が交流会へも参加する例が多く見られた。</p>	<p>&lt;課題&gt;</p> <p>校内・校外の研究発表への生徒の参加意欲が向上し入賞本数も多く、様々な分野からの発表が見られ、参加生徒数が211名から354名へ約1.5倍となった。この発表レベルを堅持することは並大抵のことではないが、それを目指しつつ、参加生徒数を増やすことが課題である。特に海外交流の生徒数についてはオンライン等の手法を活用し、多くの生徒の参加を促していく。また、SSH指定校としてカリキュラム開発に取り組む。課題として教科連携実践例が少なかった。カリキュラム・マネジメントを働かせ、適時適切な時期を選び実施していく必要がある。</p> <p>&lt;対応策&gt;</p> <p>SSH関連の研修への参加は、部活動や特別活動、希望制の研修に加え、土曜の有効活用、学校行事や授業にも取り入れて参加率向上を目指していく。</p> <p>学校設定科目の内容充実や教科連携においては、プロジェクトチームを発足させ推進していく。</p>
<p><b>2 学習指導 【B】</b></p> <p>①生徒による授業評価を7月、12月の年2回実施し、分析結果をフィードバック(今年度より生徒氏名の記名なしに変更) 肯定的評価80%以上</p> <p><b>【数値実績】</b></p> <p>ア 生徒による授業アンケートの肯定的評価の割合</p> <p>「授業はよく準備され工夫されているか」 92% [88%] 「授業はわかりやすく教え、考えさせているか」 90% [85%] 「学習したくなるよう興味関心を持たせているか」 87% [83%] 「授業に自分なりの課題や目標を持っているか」 86% [83%]</p> <p>イ 学校評価アンケートの肯定的評価の割合</p> <p>「授業のわかりやすさ(生徒のよる評価)」85.6% 「科学技術に関する興味・関心を持たせる授業(生徒による評価)」87.8% ○生徒記名なしでも評価に影響見られず。新導入の3観点にアンケートの質問項目を合わせることを検討していく。</p> <p>○「科学技術探究(1年)」では年度末に1人1テーマでポスター発表を実施。主体的・対話的な学びの実現に向けて、学年4分割して全生徒が他の発表を見る機会を創出。</p> <p>※研究授業の参観数を増やすとともに外部指名制による授業研究等の機会 昨年より研究授業への参加は増えた。コロナ禍で外部は見学できない期間が長かったため、見学機会が少なかった。</p>	<p>&lt;課題&gt;</p> <p>生徒の肯定的評価は概ね良好である。4つの質問項目中、「授業に自分なりの課題や目標を持っているか」は新3観点の「主体的に取り組む態度」にあたり、昨年より改善しているが、生徒の主体性育成のために課題と捉えている。</p> <p>進学指導研究校として「指名制による授業研究」を十分に活用できていない。外部の良い授業実践例や校内の相互授業参観を活性化させ、生徒が思考する場面を増やしていくことが課題である。</p> <p>&lt;対応策&gt;</p> <p>新学習指導要領導入に合わせ、授業評価アンケートの質問項目を○知識・技能、○思考・判断・表現、○主体的に取り組む態度がより正確に測れるように修正していき、職員会議等で結果を分析する。振り返りシート例等も教科間で共有し、学校全体で指導と評価の一体化に努めていく。</p> <p>コロナ禍の様子によって修正する必要があるが、相互授業参観や外部の授業研究を若手教員と中堅教員で活用する実践例を積み上げ、教科会等で成果を共有していく。</p>
<p><b>3 進路指導 【B】</b></p> <p>①国公立大学現役合格者数 15名以上 9 [11] 高知2、東京都立2、宇都宮1、埼玉1、岩手1、東京海洋2、前橋工科1</p> <p>②四年制大学進学率65%以上 65% [62%] 早稲田・上智・東京理科・東京薬科3など指定校推薦者増加</p> <p>③授業以外での学習時間 2時間以上(1・2年生共通) 67分 [67分] リクルート到達度テストのアンケート調査活用。次年度は全学年で実施</p> <p>④長期休業の講習等の開講講座数80件以上 52件 [45] 冷房工事で期間を区切って実施した。冬季休業時も実施あり。</p> <p>⑤英検準2級程度以上の合格者数70名以上 54名 [32] 準1級合格者を始め総合格数は改善傾向。英検準備テストも導入した。</p> <p>※模試分析シートの作成 ※模試分析会の職員会議等での実施 今年度から進学指導研究校となり指導部教授より助言を受ける機会あり。模試分析シートの作成・共有、学年集会等での振り返りや個票返却等を実践。 11月にも模試を実施し各学期毎に学力分析を実施した。希望制の外部模試を実施した学年もあり、研究校2年目の活動につなげていく。</p>	<p>&lt;課題&gt;</p> <p>指定校合格者が62名(昨年39)と大幅に増加し、総合型選抜合格者が22名(昨年39)と減少した。また、一般選抜合格者は増加した。コロナ影響等により2年次外部発表実績が積めていないことが一因と思われる。また、1・2年次の授業以外学習時間について課題がある。早期段階から学習習慣の定着を図り粘り強く難関大学を目指す意識を高めていくことが課題である。英語検定は多方面からの取組により合格数は持ち直している。</p> <p>&lt;対応策&gt;</p> <p>年度当初から外部模試を活用した学力把握、早期段階からの学力形成の推進として選抜・特進クラスの1・2学年2クラス編成を実現し学力向上に資する。。また、英語検定では学年・教科が協力して学校受験を年2回開催し、土曜講習等でも対策講座を行う。</p>

<p><b>4 生活指導</b></p> <p>①挨拶の響く明るい学校を推進し、教職員の率先垂範を徹底する。</p> <p>②基本的な生活習慣の確立とともに、遅刻防止指導と身だしなみ指導を全教職員で指導する。</p> <p>③授業時間を最大限活用するとともに、チャイム始業及び終業を徹底し、授業規律の徹底を図る。</p> <p>④学校いじめ対策委員会を中心に指導体制を充実させ、年3回のアンケートなどにより、いじめや生命に関わる事故の未然防止や早期発見に努める。</p> <p>⑤防災教育推進委員会と連携し、地域防災訓練および年4回の避難訓練を計画・実施する。</p> <p>⑥情報モラルを徹底しスマートフォン等を適正に利用できるよう指導するとともに薬物乱用防止教室等の実施により規範意識の向上・啓発を推進する</p> <p>⑦交通安全やセーフティ教室等を実施し、自転車の乗り方や通学マナーの指導に努め交通安全徹底を図る。</p>	<p>○年間遅刻回数1日1学級1人未満 (昨年0.92)</p> <p>※管理職、生徒部だけでなく、生徒会等の生徒も含めた挨拶運動の実施</p> <p>※年3回(6月、11月、2月)のアンケートと委員会(7月、12月、3月)の着実な実施</p> <p>※コロナ禍を考慮した地域と連携した防災訓練の実施</p>
<p><b>5 募集・広報活動</b></p> <p>①総務部を中心として募集対策委員会を学年・分掌を問わず公募によって編成し、積極的な募集広報活動を展開する。</p> <p>②ホームページ更新回数を増やし、教育活動や生徒の活躍を広く周知し、学校案内やポスターを効果的に活用する。</p> <p>③学校見学会、体験入学、学校説明会、個別相談、外部合同説明会の内容充実を図り来校者数を増加させる。</p> <p>④計画的、組織的な中学校訪問・塾訪問を実施し、多くの地域からの志願者を開拓する。</p> <p>⑤授業公開、部活動や実験・実習を紹介する動画制作など本校の教育活動を広く周知できる取組を充実させる。</p>	<p>①ホームページの更新130回以上 (昨年135回)</p> <p>②推薦入試倍率 1.5倍以上 (昨年 1.44)</p> <p>③学力検査倍率 最終応募倍率1.6倍以上 (昨年1.52) 実受検倍率1.2倍以上 (昨年1.04)</p> <p>※学校案内に加え、年2回のチラシ作成</p>
<p><b>6 保健・健康づくり等</b></p> <p>①学校保健計画に基づき、体力や健康づくり、食育の指導の充実を図るとともに、時差通学や個人健康観察を継続し、新型コロナウイルス感染症防止対策や教室等の環境を整備し、感染予防体制を充実させる。</p> <p>②スクールカウンセラーや学校心理士等を活用し、教育相談体制や特別支援教育体制を充実させる。</p> <p>③清掃活動やごみの分別を徹底して校内美化活動を推進する</p> <p>④健康診断や体力テストを活用し生徒の健康維持、体力向上を図る</p> <p>⑤規則正しい生活習慣を身に付けさせることで、生徒の皆勤率を高める</p>	<p>○教育相談・特別支援に係る委員会開催回数15回以上実施し、情報共有を徹底する。</p> <p>※コロナ感染症に対応した教室等の環境整備の充実</p>
<p><b>7 特別活動・部活動</b></p> <p>①体育祭、四葉祭、修学旅行等の学校行事において、実行委員会を中心に取り組む態度を育成し、達成感を高める。</p> <p>②地域や関係機関との連携を密にして、地域行事やボランティア活動への参加する活動を活性化させる。</p> <p>③部活動加入を奨励し、部活動の加入率を高め、文化部・運動部ともに活性化させる。</p> <p>④生徒会活動でリーダー性を育成するとともに、委員会活動を充実させる。</p> <p>⑤オリンピック・パラリンピック教育を推進し、国際理解やスポーツへの興味・関心を高める。</p>	<p>○部活動加入率 75%以上 (昨年73%)</p> <p>※コロナ禍に対応した学校行事の実現と、それに対応した行事計画・運営</p>
<p><b>8 学校経営・組織体制</b></p> <p>①周年行事の円滑な実施に向けて、同窓会や後援会と連携し実行委員会を円滑に運営しその準備に努める。</p> <p>②次期学習指導要領の実施に向け、教育課程委員会を中心に新しい教育課程の検討を図る。</p> <p>③経営企画室との連携を密に取り、空調工事の進捗状況共有を始めとした施設・設備の管理体制を強化する。</p> <p>④年3回の服務事故防止研修等により、個人情報の管理や体罰等の防止対策を徹底する。</p> <p>⑤部活動の休養日設定等、業務の効率化に努めるとともに、教職員の育児や介護を支援する。また、在校時間を把握し、教職員の勤務時間に対する意識改革を図る。</p>	<p>○20周年式典の円滑な実施</p> <p>※中止後の同窓会・後援会の記念品受渡、講演会等の着実な実施</p> <p>○3種類の空調工事の進捗管理の徹底</p> <p>※新学習指導要領の実施に向けた土曜講習等の計画・調整</p>

<p><b>4 生活指導 【B】</b></p> <p>○年間遅刻回数1日1学級1人未満 0.68 [0.92]</p> <p>1学年が朝学習に取り組むなどして目に見える成果がでた。</p> <p>※管理職、生徒部だけでなく、生徒会等の生徒も含めた挨拶運動の実施</p> <p>2学期、3学期に生徒会が運動に加わり挨拶する生徒の比率が高まった。</p> <p>※年3回(6月、11月、2月)のアンケートと委員会(7月、12月、3月)の実施</p> <p>いじめアンケートの着実な実施と組織的な対応、会議での情報共有が実践され、精神的に不安定な生徒が少なくない中、早期発見・未然予防できた。</p> <p>※コロナ禍を考慮した地域と連携した防災訓練の実施</p> <p>今年度から導入された「地域と連携した防災訓練」はコロナ禍で計画を変更し、生徒委員会を活用した運営ができ、防災推進外部委員から評価された。</p>	<p>&lt;課題&gt;</p> <p>ここ数年で遅刻回数は大きく改善している。特定の生徒が遅刻を重ねる例は残るが、組織的に対応できている。</p> <p>・SNSにかかる生徒指導が複数件あった。次年度は生徒一人1台端末の導入もあり、早期の生徒指導が課題である。</p> <p>&lt;対応策&gt;</p> <p>次年度8時35分始業となっても組織的遅刻指導を継続。</p> <p>SNSにかかる生徒指導の対応として、年度当初にセーフティ教室等で指導する機会を設ける。コロナの影響によるが地域連携の防災訓練の内容の充実を図る。</p>
<p><b>5 募集・広報活動 【A】</b></p> <p><b>【数値実績】</b></p> <p>①ホームページの更新130回以上 175回超 [135]</p> <p>都推奨システムに変更してセキュリティを高め各分掌に担当者を置き活性化に努めた。</p> <p>②推薦入試倍率 1.5倍以上 1.52倍 [1.44]</p> <p>③学力検査倍率 最終応募倍率1.6倍以上 1.87倍 [1.52] 実受検倍率 1.2倍以上 1.23倍 [1.04]</p> <p>※学校案内の分量を削減し、年2回チラシを作成して募集活動を展開した。</p> <p>推薦選抜方法の変更(小論文からプレゼンテーション実技へ)や入学時からSS特別進学クラスを2クラス編成する方針を秋説明会等で伝え、説明会を2部編成にするなどして本校に興味を持っていただいている層の取りこぼしを少なくし応募倍率を向上できた。</p>	<p>&lt;課題&gt;</p> <p>課題であった学力検査実受検率は向上した。中進対の第一志望調査0.93倍は若干改善してものの、学力検査当日不受検が80名となり昨年より増加。本校を第1希望とする中学生を増やすことが課題である。</p> <p>&lt;対応策&gt;</p> <p>本校の魅力を広く伝えていくために、本校を会場とした高校合同セミナーの開催や女子体験講座などを実施し、志願者層を掘り起こすと同時に、ホームページ等もさらに工夫していく。</p> <p>コロナ禍の状況によるが、より多くの中学生が本校に来場するよう様々な手法を取っていく。</p>
<p><b>6 保健・健康づくり等 【A】</b></p> <p>○教育相談に係る委員会開催回数15回以上実施し、情報共有を徹底する。</p> <p>委員会開催16回、教育相談に加え、特別支援(個別の支援計画等)も協議し、考査受験方法等の合理的配慮を複数例実施した。</p> <p>※コロナ感染症に対応した教室等の環境整備の充実</p> <p>昨年からの健康観察、昇降口でのサーモチェックに加え、CO2測定器、サーキュレータの教室配備、生徒要望に対応したブラインドカーテンの設置など迅速に実施できた。また廊下の手指消毒場所も増設した。</p>	<p>&lt;課題&gt;</p> <p>SCの面談件数が増え、巡回心理士も有効活用できたが、全員面談が9月終了となった。早期完了が課題である。昼食の黙食指導が担任、生徒部教員に限られ偏りがあった。</p> <p>&lt;対応策&gt;</p> <p>1年全員面談終了を6月を目途とし、放課後等の時間を有効活用する。コロナ禍の状況次第に依る部分が多いが、感染拡大時には全校体制での巡回等を速やかに検討する。</p>
<p><b>7 特別活動・部活動 【B】</b></p> <p>○部活動加入率 75%以上 75.5% [73%]</p> <p>・昨加入率が減少したが、文化部中心に加入率が持ち直した。</p> <p>○学校評価 質問11(学校行事を通した多様な生活体験をさせる工夫)</p> <p>肯定的評価 生徒73.2% [78.0]、保護者68.0% [67.4]</p> <p>※コロナ禍に対応した学校行事の実現と、それに対応した行事計画・運営</p> <p>・体育祭:5月実施をコロナ禍で10月に延期して実施した。学年別、競技種目縮小での実施だったが実行委員のリーダー性育成やクラス団結など効果あり。</p> <p>・文化祭:9月実施をコロナ禍で12月に延期、3年は参加できず、かつ学年別での実施となった。しかし、保護者1家庭2名と中学生(少数)を来場可能とした。ｸﾗｽ展示に加え、本校独自の展示等有り、内容は充実していた。</p>	<p>&lt;課題&gt;</p> <p>コロナ禍の状況に依るが、体験入部等の時間確保が必要だが限界がある。学校行事は昨年すべて中止であったが、今年は制限の中実施できたことは前進である。しかし、準備期間の短さや3年生が参加できなかった面が評価にも反映されている。臨機応変な実施に向けた対応と感染対策の両面並立が課題。</p> <p>&lt;対応策&gt;</p> <p>早期の個人面談や、動画による部活動紹介を実施し部活動活性化に取り組む。生徒実行委員会の育成と前例に囚われない運営に向けた検討を生徒部中心で推進する。</p>
<p><b>8 学校経営・組織体制 【B】</b></p> <p>○20周年式典の円滑な実施</p> <p>※中止後の同窓会・後援会の記念品受渡、講演会等の着実な実施</p> <p>・同窓会から体育館緞帳の寄贈や後援会から行事等に活用できるテントの寄贈を受け、周年記念品の生徒配布を進め、それらをホームページ等で発信した。</p> <p>○3種類の空調工事の進捗管理の徹底</p> <p>・HR教室の夏季休業中心の工事、体育館の空調工事を生徒の教育活動に影響なく、着実に進行できた。</p> <p>※新学習指導要領の実施に向けた土曜講習等の計画・調整</p> <p>・教育課程委員会を開催し、平日7時間授業、土曜講習の有効活用の為に教務部や各教科の調整を行い、より実践的な計画を策定できた。</p>	<p>&lt;課題&gt;</p> <p>体育館緞帳寄贈において、同窓会の方々の生徒への発信の場がコロナ禍で設定出来ていない為、次年度は機を見て実現していく。より良い土曜講習実現のため、教務部中心に柔軟に調整し、生徒の進路実現・学力形成につなげる。</p> <p>&lt;対応策&gt;</p> <p>同窓会や後援会とは、より緊密な連携を図っていく。</p> <p>土曜講習、校務支援システム等の導入、観点別導入も含め教科主任会等の活性化を図る。</p> <p>○学校評価アンケート質問2(学校生活の充実感)</p> <p>生徒による肯定的割合 85.3% [82.1]</p>

(評語の説明) A:設定した目標を高度に達成 B:設定した目標を概ね達成  
C:設定した目標を達成するにはもう一歩 D:設定した目標はほとんど未達成